

Voice

FMあすもに親近感がわくのは 市民の「生の声」が聴けるから



伊東守さん・京子さん

藤沢町藤沢 48歳・49歳

profile いう・まもる・きょうこ
リスナー歴4年9カ月。藤沢町藤沢でパン販売店「いう屋」を夫婦で営む。FMあすもで知ったイベントに出展するなど同局を積極的に活用している

たまたま聴いた番組が面白かったので、そのままFMあすものリスナーになりました。今では朝から夜までつけっぱなし。ラジオを聴いていると、一閃に住んでいても知らない「地元ネタ」がたくさんあることを実感します。お客さまとの会話のきっかけにもなるFMあすもは、私たちにあって単なる情報源を超えた、大切なパートナーです。

FMあすもには親近感がわきます。それはきっと、市民が「生の声」で発信しているから。人の持つぬくもりが、情報をより身近に感じさせます。

せっかくの地域コミュニティFM、使わなきゃもったいない。市民が積極的に参加して、盛り上げてほしいです。



「あすもデビュー」してみませんか

FMあすもに出演したいときや「地元ネタ」を紹介したいときは連絡してください。ファクス、電子メールがツイッターで24時間受け付けています。

- **ファクス** 0191・48・3364
- **電子メール** 795@fm-asmo.co.jp
- **Twitter** アカウントは @FMasmo

*メッセージには共通ハッシュタグ #cfmasmo をつけてツイートしてください

東山地域と川崎地域で使われている戸別受信機の運用が、本年度で停止します。これからは情報を待つだけでなく、自ら発信できるFMあすもの強みを生かして、地域の話題やさまざまな意見を共有しましょう。多様な情報や意見が集まることで、思いがけないアイデアが生まれるかもしれません。FMあすもの活用は、まちの活性化につながる可能性を秘めています。

地域の話題や意見を共有

FMあすもは、情報を受け取るだけでなく、市民が気軽に情報を発信できる魅力的なメディアです。

同日、中里まちづくり協議会の齊藤裕美さん(52)も番組の収録に訪れ、本年度の中里市民センターの事業をPRしました。4月18日は、市政情報番組「デイリーI-Style」内の新コーナー「キッズsing a song」の収録日。この日は、狐禅寺幼稚園の園児14人がホールに響く大きな声で園歌を披露しました。子供たちの元気な歌声は、電波に乗って市内全ての家庭に届けられます。



1 中里市民センターの活動や事業を紹介する中里まちづくり協議会の齊藤裕美さん／2 「塩竈一常GETKING!!」に生出演する蜂谷淳平さんとアーティストのMCオザワさん／3 「キッズsing a song」の収録で園歌を歌う狐禅寺幼稚園の園児／4 和やかな雰囲気の中で収録風景／5 楽曲に込めた思いや制作の苦労を語る出演者。知られざるエピソードを聴けるのもラジオの魅力

PROGRAM 02 発

Asmo is useful

情報を受け取るだけじゃない。自ら「発信する」こともできる。話題の共有や、多様な意見がまちを活性にする。それがFMあすもの醍醐味だ。



市民が自ら発信できる魅力的なメディア

市内大町のFMあすものスタジオには、自ら出演したいという市民が毎日のように訪れます。

4月11日、毎週月曜日から金曜日まで放送中の番組「塩竈一常GETKING!!」に生出演した蜂谷淳平さん(34)。蜂谷さんが役員を務める染物店の歴史をイメージした音楽を友人のMCオザワさん(31)と制作したことを紹介しました。あすもへの出演について「友達からすぐに『聴いたよ』と連絡が入る。SNS(会員制交流サイト)の『いいね!』とは違うダイレクトな反応がうれしいです」とっこり。これからは積極的に情報発信したいと話します。

同日、中里まちづくり協議会の齊藤裕美さん(52)も番組の収録に訪れ、本年度の中里市民センターの事業をPRしました。4月18日は、市政情報番組「デイリーI-Style」内の新コーナー「キッズsing a song」の収録日。この日は、狐禅寺幼稚園の園児14人がホールに響く大きな声で園歌を披露しました。子供たちの元気な歌声は、電波に乗って市内全ての家庭に届けられます。